

目次

社員と会社を守るための防災「これをやれば」取組リスト	1
本ガイドの見方	2
はじめに	3
第1章 基本的な事項	4
第2章 地震対策編 ～社内待機によって社員と会社を守る～	6
1. なぜ地震発生後に従業員等の社内待機が必要なのか	6
(1) 社内待機によって帰宅困難者の発生による新たな災害から従業員等を守る	6
(2) 社内待機の期間と津波避難の優先	7
2. 安全に社内待機するための事前の取組	8
(1) 建物の耐震性の確認	8
(2) キャビネット等の転倒防止・窓ガラス等の落下防止	9
(3) 飲食物品などの生活必需品の備蓄	10
(4) 発災時の対応の事前計画	12
(5) 発災時の出退勤ルールの作成	12
(6) 従業員等の安否確認方法の設定	13
(7) 従業員等への防災研修の実施	14
(8) 避難場所と避難経路の確認	14
3. 発災時にとるべき行動	15
(1) 安全の確保と二次災害の防止	15
(2) 社内待機の実行と避難の判断	16
第3章 風水害対策編 ～社員と会社を守る第一歩はハザードマップ～	17
1. ハザードマップによる風水害のリスクの把握	17
2. 風水害の対策	18
(1) 企業タイムラインの作成	18
(2) 避難所と避難経路の確認	19
(3) 施設・備品の対策例（浸水の被害に遭う可能性がある場所）	19
(4) 気象や防災に関する情報の取得	20
(5) 避難の判断	20
第4章 対応力向上編 ～さらに社員と会社を守るために～	22
(1) 職場の危険性の日常적인見直しと対応	22
(2) 訓練の実施による災害対応力の向上	22
(3) 事業継続計画（BCP）の策定	23
第5章 共助編 ～助け合いによって社員と会社を守る～	24
おわりに	26
資料編	27
チェックシート例	27
企業アンケート結果抜粋	28
防災情報を取得できるホームページ例	32
参考文献・ホームページ等	32